

clarion

取扱説明書

DMZ665MP

2DIN CD/MP3/WMA/MD
センターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	5
ご使用前に	7
安全に正しくお使いいただくために	7
安全上のご注意	7
取扱上のご注意	10
ご確認事項	10
本体のお手入れについて	10
ディスプレイについて	10
表示画面について	10
CDまたはMDの演奏について	11
MDについて	11
エラー表示について	11
CDについて	11

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン	12
外部機器を操作するボタン	14
システムチェック時のディスプレイ表示	15
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	15
各種設定/調整時のディスプレイ表示	16
モード別ディスプレイ表示	18
別販リモコン(RCB-176)の使いかた	22

■基本の操作

電源を入れる	24
モードを選ぶ	24
音量を調節する	24
表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える	25
時刻を合わせる	26
タイトルをスクロールさせる	27
重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)	27
音質を簡単に設定する(Zエンハンサープラス機能)	28
DSPメニューを選ぶ	28
DSP効果を調整する	29
Zエンハンサー量を調整する	29
音質を調整する(バス/トレブル)	30
バランス/フェダーを調整する	31
スピーカパターンを切り換える	32
パネルの照明色を設定する	33

■ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	35
受信バンドを切り換える	35
自動メモリーする(オートストア機能)	35
プリセット選局する	35
プリセットメモリーする	36

自動選局する(シーク選局)	36
手動選局する(マニュアル選局)	37
放送を確かめる(プリセットスキャン)	37
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	37

■CD/MP3/WMA/MDを聴く

MP3/WMAについて	38
演奏するディスクの種類を設定する(マルチセッション機能)	39
ディスクを入れる/取り出す	39
すでに入っているディスクを聴く	40
曲を選ぶ	41
演奏を止める(一時停止する)	41
早送り/早戻しする	41
最初の曲から聴く(トップ機能)	41
フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)	42
プレイリストを選択して曲を演奏する	42
プレイリストを切り換える	42
いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)	43

■グループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする	44
いろいろな演奏(グループスキャン/ グループリピート/グループランダム)	44
グループを切り換える	44

■タイトルをつける

タイトルを入力する	45
イージーインプットをする	47
タイトルを削除する	48

■設定を変更する(アジャストモード)

ディスプレイ設定を変更する	49
スペクトラムアナライザーの感度を設定する(S/A SENS)	50
スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPEED)	50
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	50
メッセージ入力を設定する(MSG INPUT)	50
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)	50
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	50
ディマーモーションを設定する(DMR MOTION)	50
その他の設定を変更する	49
ボタン操作時のビーブ音を設定する(BEEP)	52
チューナーエリアを設定する(TUN AREA)	52
TVエリアを設定する(TV AREA)	52
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	54
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	54
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)	54
システムをチェックする(SYS CHECK)	54

次ページに続く➤

目次

外部機器の操作

■CDチェンジャーを操作する

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏』は、CDモードと同様の操作です。「CD/MP3/WMAを聴く」(41～43ページ)をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ.....	56
聴きたいディスクを選ぶ.....	57
いろいろな演奏(ディスクスキャン/ ディスクリピート/ディスクランダム演奏).....	57

■テレビを見る

※『自動選局/手動選局/プリセット選局/プリセットメモリー/自動メモリー』は、ラジオモードと同様の操作です。「ラジオを聴く」(35～37ページ)をご覧ください。

TVモードを選ぶ.....	58
受信バンドを切り換える.....	58
ビデオを見る.....	59

■その他の外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く(AUXモード).....	59
--------------------------	----

その他

システムアップについて.....	60
CeNETケーブルについて.....	61
故障と思われる前に.....	62
エラー表示について.....	63
仕様.....	64
アフターサービスについて.....	65

主な特長

本機は、AM/FMラジオとMDデッキ、CD/MP3/WMAデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャーを接続してコントロールできるCeNET結線対応のセンターユニットです。



■MP3/WMA再生機能

- MP3/WMAフォーマットで記録したCD-ROM、CD-R/RWが再生できます。
- ISO9660レベル1,2、JOLIET、ROMEOに対応。
- プレイリスト再生機能

■メッセージインフォメーション機能

- スクリーンセーバーとしてお好みに合わせてディスプレイに表示可能（英・数・カナ30文字）

■MDLP再生機能

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる（80分MD使用時）MDLP再生機能を搭載しています。
- グループ編集MD再生機能

■バリエブルカラー機能

- RGBカラーのLEDにより、フロントパネル全体を728色にカラー調整可能。（12色のプリセットカラーと3色のユーザーメモリー付き）

■53W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力53W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3/MDプレーヤー部

- 20秒間のショックブローフメモリー搭載
- ID3タグ表示が可能
- CDテキスト表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■ 主な特長

■ Z-エンハンサープラス/DSP機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、好みの音質を即座に設定できます
- 2バンド(LOW/HIGH)のパラメトリックイコライザーにより周波数帯域毎に、好みの音質に調整することが可能です
- 5種類のベーシックパターンから選べるデジタルサウンドプロセッサー(DSP)機能

■ タイトル入力/表示機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名、グループ名または曲名を表示

■ 携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMDやDVD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

■ リモートコントローラー対応

- 別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■ **CeNET** (Clarion Entertainment Network : シーイーネット) 結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。インダッシュTV、TVチューナー、CDチェンジャーが操作できるコントロール機能
- チェンジャーは、合計2台まで接続可能

ご使用前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■ ご使用の前に

■ 使用上のご注意


⚠ 警告


- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…
火災や感電の原因となります。


⚠ 警告


- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…** 


車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れない…** 


けがの原因となることがあります。
- **本機を車載用以外には使用しない…** 

感電やけがの原因となることがあります。
- **電源を切るときは、音量を最小にする…** 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意




- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…** 

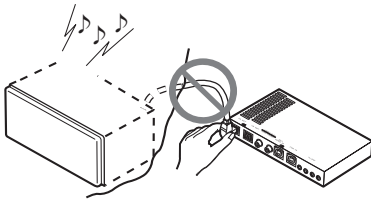
火災の原因となることがあります。
- **本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…** 

専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

-  または  マークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。
- CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。
-  マークのついたMDをご使用ください。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行くと、故障の原因となります。



- CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(64ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

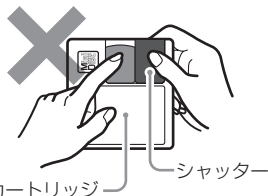
CDまたはMDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

MDについて

■取扱い上のご注意

- 直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。
- MDのシャッターを手で開けないでください。



- ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

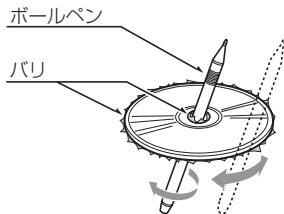
■お手入れ

- カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

■取扱い上のご注意

- CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン

- MD** MDイジェクトボタン
• MDをイジェクトします。

SPE/ANA

スピーアナボタン

- スピーアナパターンを切り換えます。
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスプレイ部の表示を消灯します。(ディスプレイオフモード)元に戻すには、スピーアナボタンまたはディスプレイボタンを押します。

DISP

ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けて各種の設定や調整をするときに使います。(アジャストモード)

TITLE

タイトルボタン

- ラジオの名称や、CDモード時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- 押すとユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。



サーチノブ(左右に回す)

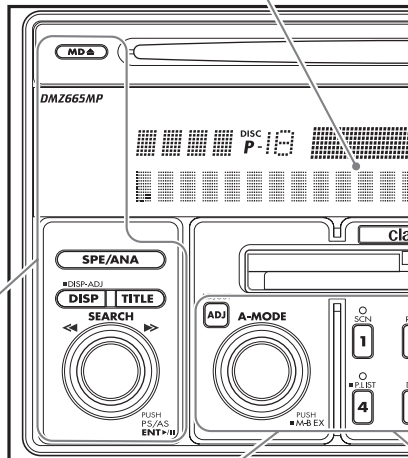
- ラジオモード時は選局に使います。
- CD/MP3/MDモード時には選曲に使います。回し続けると早送り/早戻しを行います。



サーチノブ(中央を押す)

- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- CD/MP3/MDモードは、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。

ディスプレイ部
選局/演奏状態の各情報を表示します。



ADJUST

ADJ

アジャストボタン

- 表示系以外の設定を変更するときに使います。

A-MODE

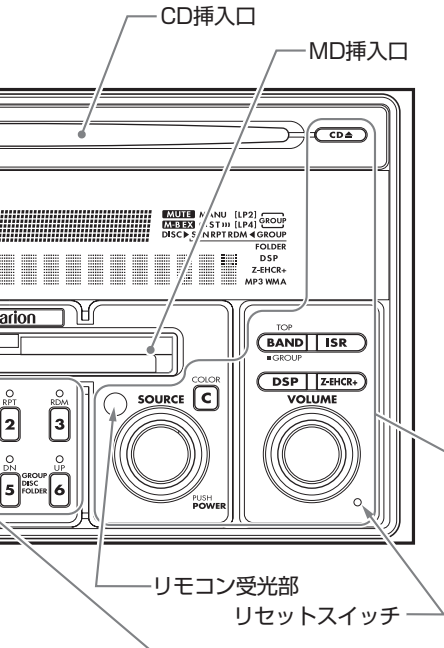


オーディオモードノブ

- 押して音質とバランス/フェダー等の調整項目を選び、回して調整します。
- 押し続けると(約1秒間) マグナベースEX機能をON/OFFします。
- アジャストモード時に各種の設定に使います。
- ユーザーカラー調整時に回して調整します。

サーチノブの操作について

- 操作説明における『ノブを回す』は、ある角度まで回して指をはなす操作です。
- 『ノブを回し続ける』は、ある角度まで回してその状態を(指定時間)保持する操作です。



CD **CDイジェクトボタン**
 ・CDをイジェクトします。

BAND **バンドボタン**
 ・ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
 ・CD/MP3/MDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
 ・グループ編集MD再生時は、押し続けるとグループ機能をON/OFFします。

ISR **ISRボタン**
 ・現在のモードにかかわらず、よくお聞きになるラジオ局をすぐに出します。(ISR機能)

Z-EHCR+ **Zエンハンサーボタン**
 ・3種類の音質効果メモリーを切り換えます。

DSP **DSPボタン**
 ・DSPモードを選択します。

VOLUME **ロータリーボリューム**
 ・右または左へ回して、音量を調整します。

COLOR **カラーボタン**
 ・マルチカラーの表示色を切り換えます。
 ・ユーザーカラー選択時に押し続けると、カラー調整モードになります。

SOURCE **ソースノブ**
 ・押して電源を入れ、押し続け(約1秒間)て電源を切ります。
 ・右または左へ回してモードを切り換えます。

PLIST **プレイリストボタン**
4 ・プレイリスト入りディスク再生時に押し続ける(約1秒間)と、プレイリスト機能をON/OFFします。

1 ~ **6** **ダイレクトボタン**
 ・ラジオ時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

SCN **スキャンボタン**
1 ・CD/MP3/MDモードに、約10秒間ずつスキャン演奏します。

RPT **リピートボタン**
2 ・CD/MP3/MDモード時に、繰り返し演奏します。

RDM **ランダムボタン**
3 ・CD/MP3/MDモード時にランダム演奏をします

アップ/ダウンボタン
 ・グループ編集MD時にグループを切り換えます。
 ・MP3/WMAディスク再生時にフォルダーを切り換えます。

DN **GROUP DISC FOLDER**
5

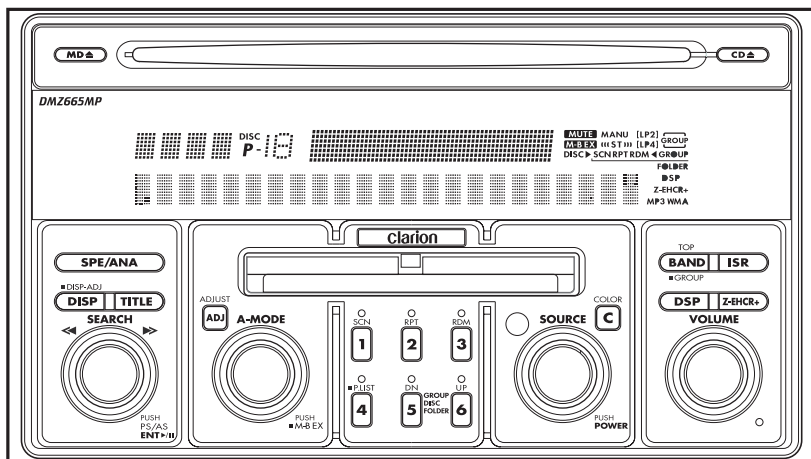
UP **GROUP DISC FOLDER**
6

■商品イラストについて

本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。

各部の名称とはたらき

外部機器を操作するボタン



DISP

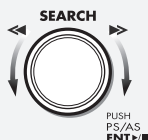
■DISP-ADJ ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けて(約1秒間)表示系の設定や調整に使います。

TITLE

■TITLE タイトルボタン

- TV局の名称や、CDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除などに使います。



サーチノブ(左右に回す)

- TVモード時は選局に使います。
- チェンジャーモード時には選曲に使います。回し続けると早送り/早戻しを行います。



サーチノブ(中央を押す)

- TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- チェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。

1~6

ダイレクトボタン

- TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

SCN

1

スキャンボタン

- チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。

RPT

2

リピートボタン

- チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

RDM

3

ランダムボタン

- チェンジャーモード時にランダム演奏をします。

DN

5

GROUP DISC FOLDER

アップ/ダウンボタン

- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。

TOP BAND

GROUP

バンドボタン

- TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局が手動選局に切り換えます。

SOURCE



ソースノブ

- 押して電源を入れ、押し続け(約1秒間)で電源を切ります。
- 右または左へ回してモードを切り換えます。

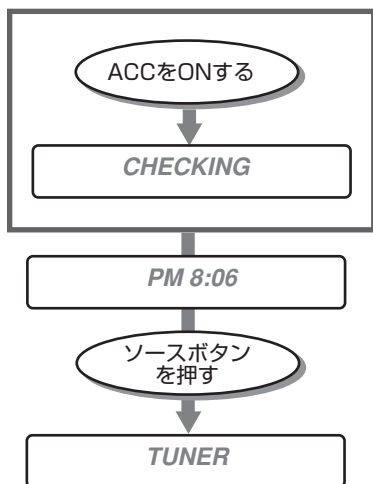
システムチェック時のディスプレイ表示

■システムチェックについて

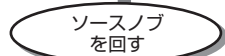
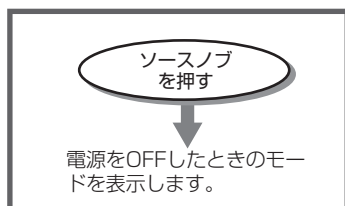
本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。

ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき



電源ON/OFF時のディスプレイ表示



モードを切り換える

ソースノブを右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。(以下の表示は一般的な接続例を示します。)

●ラジオモード

TUNE P. 3 FM1 83.0 DSP

●CDモード

CD 01 00:00 DSP

●MDモード

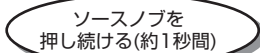
MD 01 01 00:00 LP4 GROUP DSP

●CDチェンジャーモード(接続時)

CDC1 DISC 1 01 00:00 DSP

●AUXモード

AUX AUX DSP



(時計表示状態で電源をOFFした場合)

PM 8:06

各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

音質/バランス/フェダーを調整する

A-M B◀GAIN 1▶ DSP (30ページ)

音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)

TUNE P.3 BASS BOOST Z-EHCR+ (28ページ)

表示を切り換える

ディスプレイボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

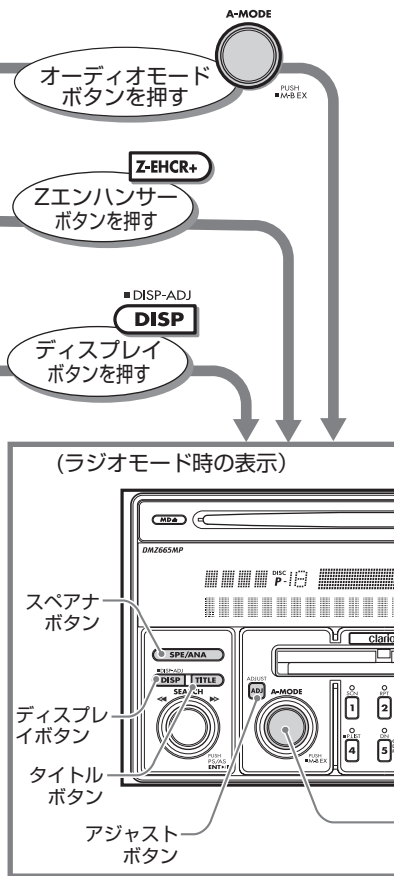
- メイン表示
TUNE P.3 FM1 83.0 DSP
- タイトル表示
TUNE P.3 NAC 5 DSP
- 時計表示
TUNE P.3 PM 3:38 DSP (25ページ)
- スクリーンセーバー
スクリーンセーバー機能が「SS ON」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。(詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(50ページ)をご覧ください。)

タイトルを入力する

TUNE P.3 ■ DSP (45ページ)

DSPメニューを選ぶ

TUNE P.3 STADIUM DSP (28ページ)



タイトル表示中に
タイトルボタンを
押し続ける(約1秒間)

TITLE

DSP

DSPボタンを押す

■DISP-ADJ
DISP

ディスプレイボタンを
押し続ける(約1秒間)

■DISP-ADJ
DISP

ディスプレイ
ボタンを押す

表示関係を設定する(ディスプレイジャストモード)

サーチノブを右または左へ回して調整項目を選び、オーディオモードノブを回して調整内容を設定します。
(50~51ページ)

- 時計の設定 (CLOCK) (26ページ)



- スペクトラムアナライザーの感度設定 (S/A SENS)
- スペアナ表示の速さを設定 (S/A SPEED)
- スクリーンセーバーの設定 (SCRN SVR)
- スクリーンセーバーメッセージの入力 (MSG INPUT)
- タイトルスクロール方法の設定 (AUTO SCRL)
- ディマーレベルの設定 (DIMMER)
- ディマーモーションの設定 (DMR MOTION)

アジャスト
ボタンを押す

ADJUST

ADJ

その他を設定する(アジャストモード)

サーチノブを右または左へ回して調整項目を選び、オーディオモードノブを回して調整内容を設定します。

- ビープ音の設定 (BEEP) (52~55ページ)



- チューナーエリアの設定 (TUN AREA)
- TVエリアの設定 (TV AREA)
- TV受信時の主音声/副音声の設定 (MAIN/SUB)
- TVダイバーの設定 (TV DIVER)
- 携帯用オーディオの入力レベルを設定 (AUX SENS)
- システムのチェック (SYS CHECK)

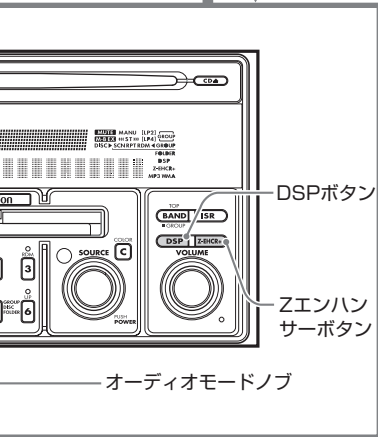
スペアナを切り換える

スペアナボタンを押すたびに切り換わります。

- パターン1



- スペアナオフ (32ページ)



DSPボタン

Zエンハン
サーボタン

オーディオモードノブ

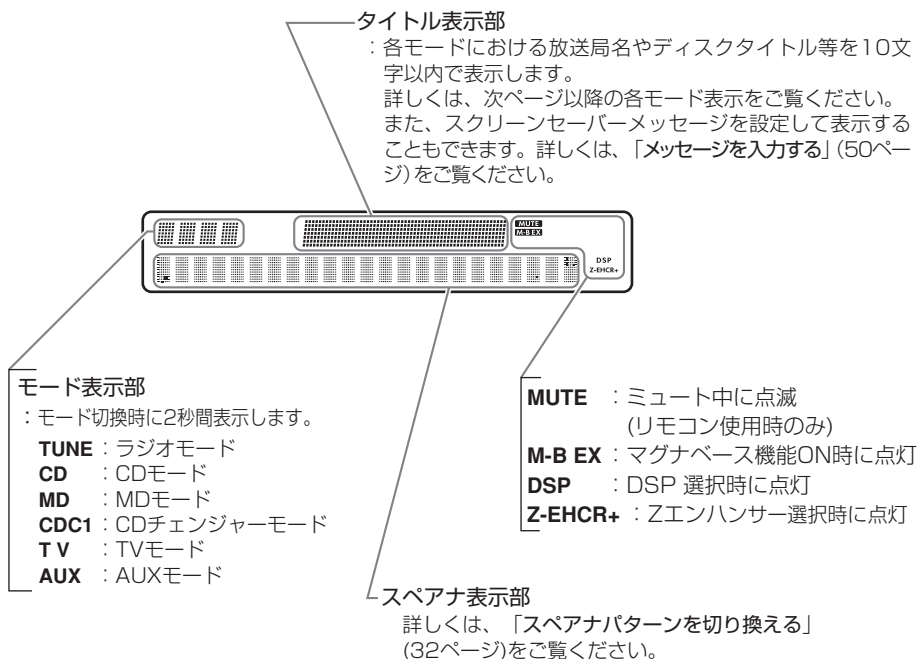
SPE/ANA

スペアナ
ボタンを押す

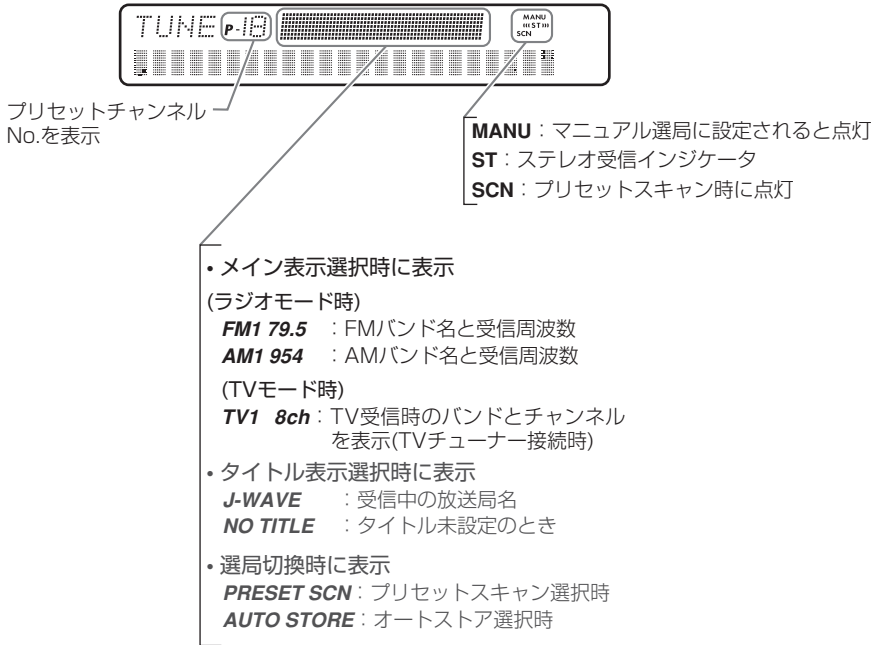
■ 各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示



■ラジオ/TVモード時の表示

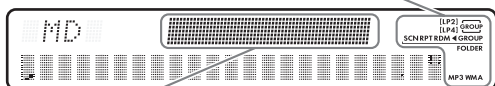


各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

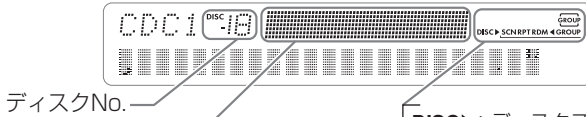
CD/MP3/MDモード時の表示

・演奏モードに応じて点灯	
(LP2) : LP2モードMD再生時	◀GROUP : グループスキャン/グループ
(LP4) : LP4モードMD再生時	リピート/グループランダム
GROUP : グループ編集ディスク演奏時	演奏時
GROUP : グループ機能ON時	FOLDER
SCN : スキャン演奏時	: フォルダースキャン/フォル
RPT : リピート演奏時	ダールピート/フォルダラ
RDM : ランダム演奏時	ンダム演奏時
	MP3 : MP3演奏時
	WMA : WMA演奏時



- ・メイン表示選択時に表示
01 03 00:00 グループNo./【トラックNo/ファイルNo./リストNo.】/演奏時間表示(分、秒)
 - ・タイトル表示選択時に表示
DISTANCE : CDにおけるユーザータイトル表示
CDテキスト再生時に、表示モード切り換えるたびに、ユーザータイトル、ディスクタイトル、アーティスト名、トラックタイトルの表示をします。また、MD再生時は、表示モード切り換えるたびに、ディスクタイトル、グループタイトル、トラックタイトルの表示をします。
NO TITLE : CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
NON GROUP : グループタイトル表示におけるNON グループ再生時に表示
NO GROUP : グループタイトル表示における通常のMD再生時に表示
 - ・選曲切換時に表示(約2秒間)
(CD/MD再生時)
TRACK SCAN : スキャン演奏選択時
TRACK RPT : リピート演奏選択時
TRACK RDM : ランダム演奏選択時
(グループ編集MD再生時)
GROUP SCAN : グループスキャン演奏選択時
GROUP RPT : グループリピート演奏選択時
GROUP RDM : グループランダム演奏選択時
(MP3/WMA再生時)
♪ **SCAN** : スキャン演奏選択時
♪ **REPEAT** : リピート演奏選択時
♪ **RANDOM** : ランダム演奏選択時
■ **SCAN** : フォルダースキャン演奏選択時
■ **REPEAT** : フォルダリピート演奏選択時
■ **RANDOM** : フォルダランダム演奏選択時
 - ・マルチセッション機能切換時に表示(約2秒間)
M-SESS CD : CD演奏選択時
M-SESS MP3 : MP3/WMA演奏選択時
- ・その他の表示
NO DISC : ディスクがないとき
ERROR 2 : エラー発生時
PAUSE : 演奏一時停止時
GROUP ON : グループ機能ON
GROUP OFF : グループ機能OFF
GROUP READ : グループ情報読み込み中(MDモード)

■CDチェンジャーモード時(接続時)の表示



ディスクNo.

- DISC▶** : ディスクスキャン/ディスクリピート
/ディスクランダム演奏時に点灯
- SCN** : スキャン演奏時に点灯
- RPT** : リピート演奏時に点灯
- RDM** : ランダム演奏時に点灯
- ◀GROUP** : グループスキャン/グループリピート
/グループランダム演奏時に点灯

• メイン表示選択時に表示

T03 00:00 : ディスクNo./トラックNo.と演奏時間を表示

• タイトル表示選択時に表示

DISTANCE (入力例) : ユーザータイトル等を表示

U NO TITLE : CDにおけるユーザータイトル未設定のとき

D NO TITLE : CDテキスト対応でないCD演奏時にディスクタイトル表示を選択したとき

A NO TITLE : CDテキスト対応でないCD演奏時にアーティスト表示を選択したとき

T NO TITLE : CDテキスト対応でないCD演奏時にトラックタイトル表示を選択したとき

• 選曲切換時に表示(約2秒間)

TRACK SCAN : スキャン演奏選択時

DISC SCAN : ディスクスキャン演奏選択時

TRACK RPT : リピート演奏選択時

DISC RPT : ディスクリピート演奏選択時

TRACK RDM : ランダム演奏選択時

DISC RDM : ディスクランダム演奏選択時

GROUP SCAN : グループスキャン演奏選択時

GROUP RPT : グループリピート演奏選択時

GROUP RDM : グループランダム演奏選択時

• その他の表示

ERROR 2 : エラー発生時

PAUSE : 演奏一時停止時

DISC CHECK : ディスク診断時

NO DISC : ディスクがないとき

NO MAG : チェンジャーにマガジンがないとき

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-176)の使いかた

モードを選ぶ

ソースボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ→CD/MP3→MD
↓
AUX ←(TV) ←(CDチェンジャー)

- 押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する

▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す

ミュートボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す

ISRボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます(約2秒間)
- 元のモードに戻すには、もう一度ISRボタンを押します。

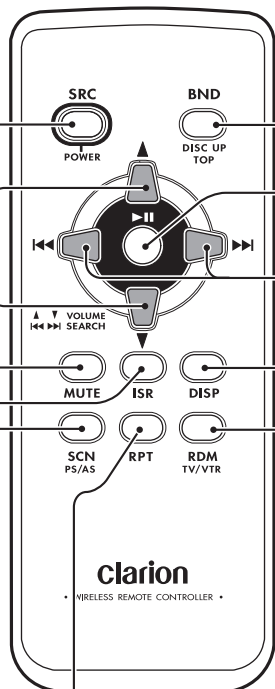
曲を探す/放送局をプリセットする

スキャンボタン

- スキャン演奏します。(CD/MP3/MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(チェンジャーモード時)
MP3/WMAでは、フォルダスキャン演奏をします。グループ編集MD再生時はグループスキャン演奏をします。
- プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
- また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
- 解除するときは、もう一度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

- 繰り返し演奏します。(CD/MP3/MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
MP3/WMAでは、フォルダリピート演奏をします。グループ編集MD再生時はグループリピート演奏をします。
- TVモード時にステレオ/モノラルに切り換えます。
- TVモード時に押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。(2カ国語)
- 解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。



最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

バンドボタン

- 最初の曲から演奏します。(CD/MP3/MDモード時)
MP3/WMAでは、フォルダの1曲目に戻ります。
- 受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する

バンドボタン

- 次のCDを演奏します。(チェンジャーモード時)

演奏する

▶/|| (プレイ・ポーズ) ボタン

- 演奏と一時停止をします。(CD/MP3/MDモード、チェンジャーモード時)

選曲する/選局する

◀◀ ▶▶ (サーチ) ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CD/MP3/MDモード、チェンジャーモード時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TVモード時)

表示を切り換える

ディスプレイボタン

- 次のように表示を切り換えます。
メイン表示 → タイトル表示 → 時計表示
- タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。
※タイトル表示の内容については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(25ページ)をご覧ください。

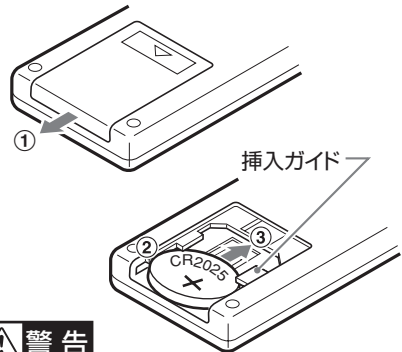
ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える

ランダムボタン

- ランダム演奏します。(CD/MP3/MDモード、チェンジャーモード時)
- 押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時) MP3/WMAでは、フォルダランダム演奏をします。グループ編集MD再生時はグループランダム演奏をします。
- TVモード時にTVをVTRに切り換えます。
- 解除するときには、もう一度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。



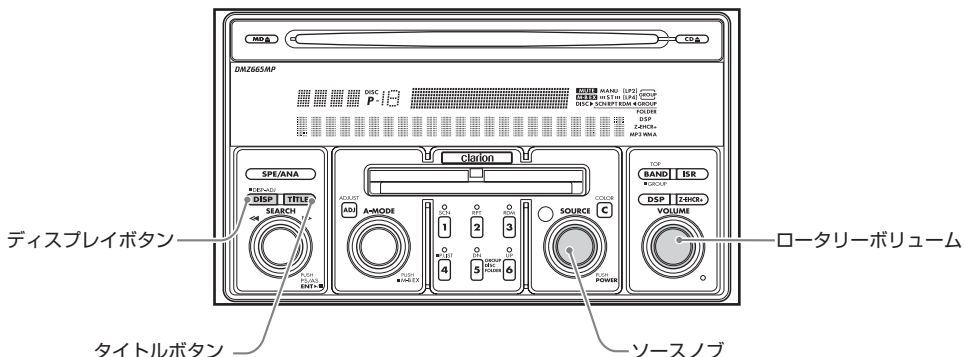
⚠ 警告

- リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- 使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- 指定電池以外は使用しない。
 - 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
 - 電池を加熱したり、火や水の中に入れてはならない。また、分解しない。
 - 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
 - リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて…

電源を入れるとシステムチェックを開始しディスプレイに“CHECKING”を表示します。チェックを完了すると電源OFFの状態になりますので、ソースボタンを押してください。

1 ソースノブを押す



→ラジオモードになります。

ご注意

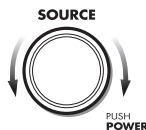
バッテリー上がり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

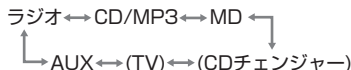
ソースノブを押し続け(約1秒間)てください。

モードを選ぶ

1 ソースノブを回す

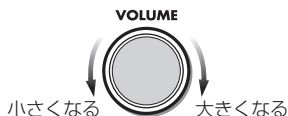


→右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。接続している機器のモードを表示します。



音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す



→右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える

1 ディスプレイボタンを押す

■DISP-ADJ

DISP

→押すたびに、次のように切り換わります。

■**タイトル表示を切り換えるには…**
タイトル表示のときに、タイトルボタンを押してください。

■**演奏情報を常時表示するには…**
スクリーンセーバー機能をOFFにしてください。(50ページ参照)

■**ディスプレイ表示を消すには…**
スぺアナボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

→ディスプレイの全ての表示が消えます。
ディスプレイを消灯することにより、表示用のデータ送信等に起因したノイズを抑制し、音質を向上させることができます。
元の表示に戻すときは、スぺアナボタンあるいはディスプレイボタンを押してください。

メイン表示

●ラジオ/TVモード

TUNE P-3 FM1 83.0

●CD/MDモード

CD T01 00:00

タイトル表示

●ラジオモード

TUNE P-3 NACK-5

選局/選曲等の
ボタンを押す

メイン表示を約2秒間表示
(ラジオモード時の表示)
TUNE P-3 FM1 83.0

●CD/MD再生時・CDチェンジャーモード

ユーザータイトル
(CD)

ディスクタイトル
(MD,CDテキスト)

※MP3/WMA再生時は、フォルダー→トラック→アルバムTAG→アーティストTAG→タイトルTAGを切り換えます。

タイトルボタン
を押す

グループタイトル
(MD)

トラックタイトル
(MD,CDテキスト)

アーティスト名
(CDテキスト)

時計表示

TUNE P-3 PM 11:14

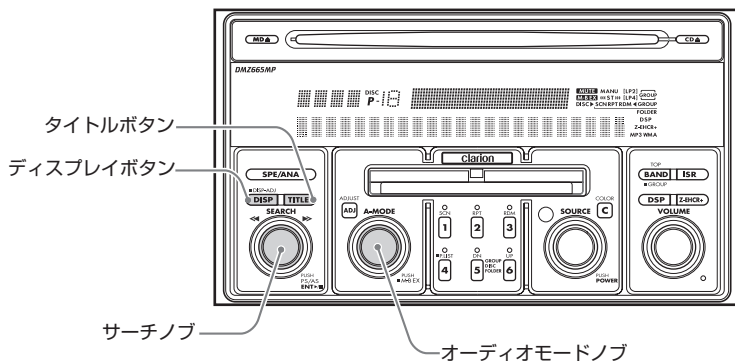
選局/選曲等の
ボタンを押す

メイン表示を約2秒間表示
(ラジオモード時の表示)
TUNE P-3 FM1 83.0

スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「SS ON」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは50ページをご覧ください。

■ 基本の操作



時刻を合わせる

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

電源OFFの状態で時計表示にしておきたいときは、ディスプレイボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。

→時刻(「AM 1:15」等)を表示して、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

1 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

■ DISP-ADJ

DISP

→タイトル表示部に前回調整した項目名(CLOCK等)を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

4 サーチノブを回して、時または分を選ぶ

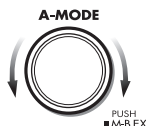


- 点滅している項目を調整できます。

2 サーチノブを回して、「CLOCK」を選ぶ



5 オーディオモードノブを回して、時刻を合わせる



3 サーチノブを押す



6 サーチノブを押す



→「ピー」と鳴って時刻が設定されます。

ご注意

点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

7 ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、元のモードに戻る

■DISP-ADJ

DISP

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)(48ページ)」で選択したスクロール方法に従い表示します。

- 「ON」：自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「OFF」：タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)とスクロールします。

1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TITLE

→タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

ご注意

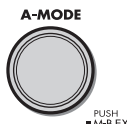
CDモード、CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押し続ける(約1秒間)と、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

重低音をON/OFFする (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは…

小音量でお聴きになるときは、低音を強調するマグナベースEXの自然な音質をおすすめします。

1 オーディオモードノブを押し続ける(約1秒間)

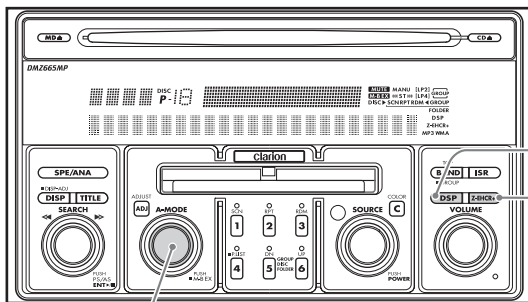


→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFするには…

もう一度、オーディオモードノブを押し続けて(約1秒間)ください。

■ 基本の操作



オーディオモードノブ

DSPボタン

Zエンハンサーボタン

音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)

Zエンハンサープラス機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定して楽しみください。

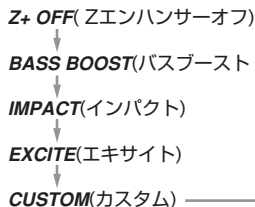
- **BASS BOOST** : 低音を重視したサウンド
- **IMPACT** : 低音と高音を強調したサウンド
- **EXCITE** : 低音と高音を更に強調したサウンド

※初期設定は「**Z+ OFF**」です。

1 Zエンハンサーボタンを押す

Z-EHCR+

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



■カスタムについて(CUSTOM)…

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。「音質を調整する(バス/トレブル)」(30ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■ Zエンハンサーオフについて (Z+ OFF) …

Zエンハンサーオフ(**Z+ OFF**)は、原音のままお聴きになりたいときにご使用ください。

DSPメニューを選ぶ

DSP機能について…

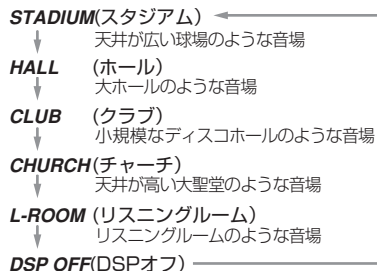
DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシミュレーションして楽しめいただく機能です。

※初期設定は「**STADIUM**」です。

1 DSPボタンを押す

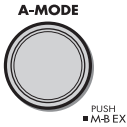
DSP

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

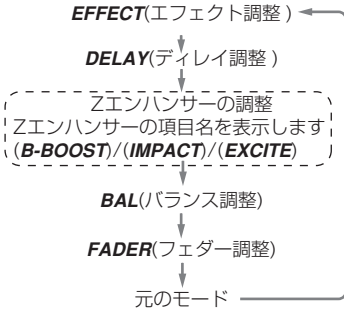


DSP効果を調整する

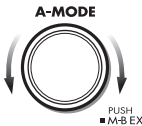
1 オーディオモードノブを押して、調整項目を選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わります。



2 オーディオモードノブを回して、エフェクト/ディレイタイム調整する



ご注意

効果量を上げすぎると演奏本来の曲のイメージに影響を与える場合があります。

●エフェクトの調整(EFFECT)

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機は反射音の効果量を変えられます。

※DSP機能がONのときに調整できます。

- 調整範囲は、0%～70%です。

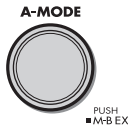
●ディレイタイムの調整(DELAY)

ディレイタイムとは、直接音と反射音の時間差のことです。本機はこの時間差を調整することができます。

※DSP機能がONのときに調整できます。

- 調整範囲は、10%～200%です。

3 オーディオモードノブを数回押して、元のモードに戻る

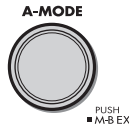


Zエンハンサー量を調整する

ご注意

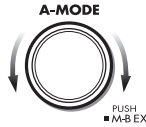
Zエンハンサー機能が**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。

1 オーディオモードノブを押して、Zエンハンサー調整項目(B-BBOOST/IMPACT/EXCITE)を選ぶ



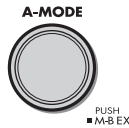
→ 押すたびに、調整項目が切り換わります。

2 オーディオモードノブを回して、調整する

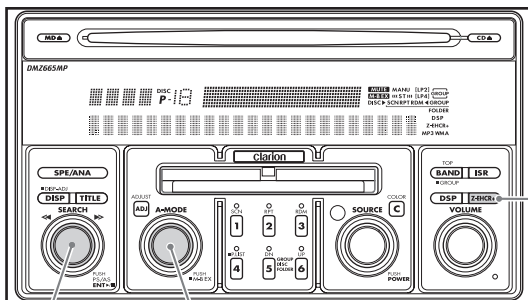


- 調整範囲は、-3～+3です。

3 オーディオモードノブを数回押して、元のモードに戻る



■ 基本の操作



サーチノブ

オーディオモードノブ

Zエンハンサーボタン

音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

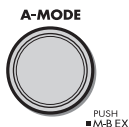
ご注意

この機能は、Zエンハンサー機能がカスタム(CUSTOM)のときに設定できます。

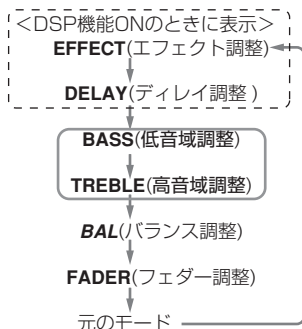
- 1 Zエンハンサーボタンを押して、「CUSTOM」を選ぶ

Z-EHCR+

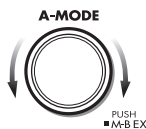
- 2 オーディオモードノブを押して、調整項目「BASS」または「TREBLE」を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



- 3 オーディオモードノブを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する

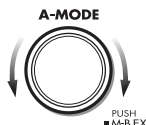


- BASS(低音域)/TREBLE(高音域)調整範囲は、-6~+6です。

- 4 サーチノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ



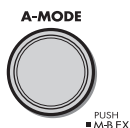
- 5 オーディオモードノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(Qカーブ)を調整する



- BASS(低音域)
周波数(FREQ) : 60Hz, 100Hz, 200Hz
Qカーブ(Q) : 1, 1.25, 1.5, 2
- TREBLE(高音域)
周波数(FREQ) : 10KHz, 15kHz

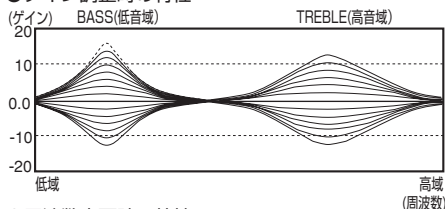
Qカーブ(Q) : 1.4(固定、調整できません)

6 オーディオモードノブを数回押して、元のモードに戻す

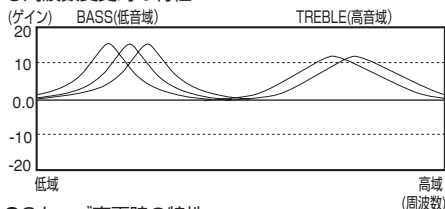


※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

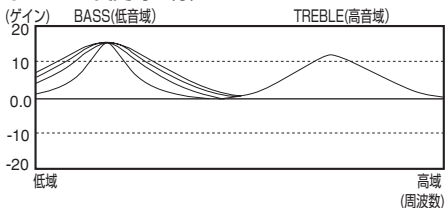
●ゲイン調整時の特性



●周波数変更時の特性



●Qカーブ変更時の特性



※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

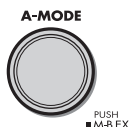
■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

Zエンハンサーボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

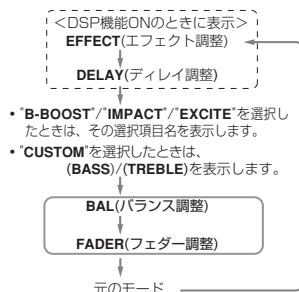
→“Z+ FLAT”を表示して、バス/トレブルの設定値が初期値に戻ります。

バランス/フェダーを調整する

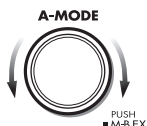
1 オーディオモードノブを押して、「BAL」または「FADER」を選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。



2 オーディオモードノブを回して、調整する



●左右のスピーカー(バランス)の調整

調整範囲は、L13~R13です。

右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整

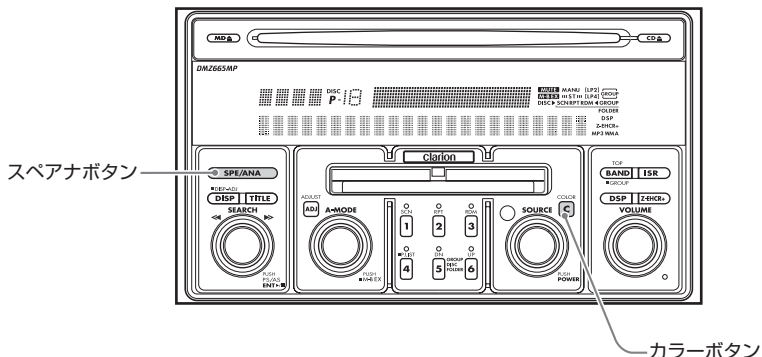
調整範囲は、F12~R12です。

右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

3 オーディオモードノブを数回押して、元のモードに戻す



■ 基本の操作



スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー(スペアナ)とは…

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。

本機は、8種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

1 スペアナボタンを押す

SPE/ANA

→押すたびに、スペアナパターンがパターン1→パターン2・・・パターン9と切り換わります。スペアナパターンについては、次項をご覧ください。

*スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。

- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- [NO DISC]表示中。
- エラー表示中。
- 消音(ミュート)中、一時停止中。

■ スペクトラムアナライザーの感度について…

スペクトラムアナライザーの感度(SENSITIVITY)は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

初期設定は「MID」です。設定のしかたは、「スペクトラムアナライザーの感度を設定する(S/A SENS)」(50ページ)をご覧ください。

■ スペアナ表示の速さについて…

スペアナ表示の速さを3種類(HIGH、MID、LOW)に切り換えることができます。

初期設定は「HIGH」です。設定のしかたは、「スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPEED)」(50ページ)をご覧ください。

■ ディスプレイ表示を消すには…

スペアナボタンを押し続け(約1秒間)てください。

→ディスプレイの全ての表示が消えます。

ディスプレイを消灯することにより、表示用のデータ送信等に起因したノイズを抑制し、音質を向上させることができます。

元の表示に戻すときは、スペアナボタンあるいはディスプレイボタンを押してください。

●スぺアナパターンについて

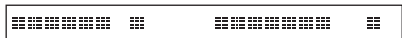
• パターン1



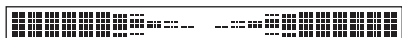
• パターン2



• パターン3



• パターン4



• パターン5



• パターン6



• パターン7



• パターン8



• パターン9



パターン1～8のスぺアナパターンを順次切り換えて表示します。

• スぺアナオフ

選択モードに応じた選局/選曲等の情報を表示します。

パネルの照明色を設定する

表示色について…

お好みに合わせて、フロントパネルの照明色を変更することができます。

イルミネーションは、12色のプリセットカラーおよび、728色のカラー調整が可能です。お好みに合わせて表示色を選択してください。

※初期設定は「**COLOR SCAN**」です。

1 カラーボタンを押して表示色を選ぶ

COLOR



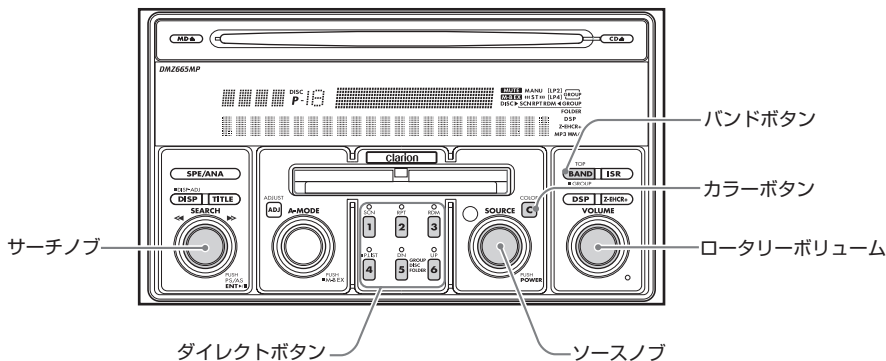
→押すたびに、次のように切り換わります。

1. **COLOR SCAN** (カラスキャン) ←
2. **Indigo Blue** (インディゴブルー)
3. **Surf Blue** (サーフブルー)
4. **Silky White** (シルキーホワイト)
5. **Aqua Green** (アクアグリーン)
6. **Fresh Green** (フレッシュグリーン)
7. **Leaf Green** (リーフグリーン)
8. **Moon Yellow** (ムーンイエロー)
9. **Warm Amber** (ウォームアンバー)
10. **Pale Orange** (パールオレンジ)
11. **Passion Red** (パッションレッド)
12. **Vivid Pink** (ビビッドピンク)
13. **Dark Violet** (ダークバイオレット)
14. **USER COLOR 1** (ユーザーカラー1)
15. **USER COLOR 2** (ユーザーカラー2)
16. **USER COLOR 3** (ユーザーカラー3) ←

■ユーザーカラーを設定するには…

次ページの「ユーザーカラーを設定する」をご覧ください。

■ 基本の操作



■ ユーザーカラーを設定する

お好みに合わせて、フロントパネルの照明色を調整することができます。ユーザーカラーメモリーは3つまで登録できます。

- 調整範囲は、0~8です。
- 「R」「G」「B」の設定値は、全てを「0」に設定できません。

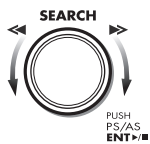
1 カラーボタンを押して、ユーザーカラー(USER COLOR1/2/3)を選ぶ



2 カラーボタンを押し続ける(約1秒間)



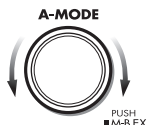
3 サーチノブを回して、調整項目(R, G, B)を選ぶ



→点滅している項目が調整できます。



4 オーディオモードノブを回して調整する



5 サーチノブを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「COLOR MEMO」を表示し、ユーザーカラーをメモリーします。

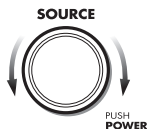
■ プリセットカラー(初期設定値)

カラー	R	G	B
Indigo Blue(インディゴブルー)	0	0	8
Surf Blue(サーフブルー)	0	4	8
Silky White(シルキーホワイト)	8	8	7
Aqua Green(アクアグリーン)	0	8	2
Fresh Green(フレッシュグリーン)	0	8	0
Leaf Green(リーフグリーン)	3	8	0
Moon Yellow(ムーンイエロー)	8	6	0
Warm Amber(ウォームアンバー)	8	3	0
Pale Orange(ペールオレンジ)	8	2	0
Passion Red(パッションレッド)	8	0	0
Vivid Pink(ビビッドピンク)	8	0	3
Dark Violet(ダークバイオレット)	3	0	8
USER COLOR 1(ユーザーカラー-1)	8	8	8
USER COLOR 2(ユーザーカラー-2)	8	8	8
USER COLOR 3(ユーザーカラー-3)	8	8	8

ラジオ放送を聴く

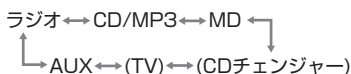
ラジオモードを選ぶ

1 ソースノブを回して、ラジオモードを選ぶ



→右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。

接続している機器のモードを表示します。



- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1~6)に登録されていきます。

ご注意

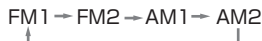
- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ



→バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。



プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



→ディスプレイに放送局とプリセットNo.を表示します。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 サーチノブを押し続ける(約2秒間)

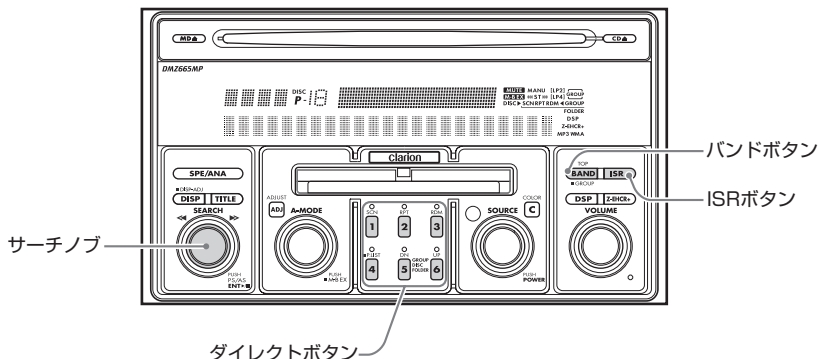


→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

ラジオ放送を聴く



プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、FM1、
FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局
です。

- 1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ



- 2 サーチノブを回して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1～6)を押し続ける(約2秒間)



→押し続けると「ピー」となり、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチノブを回す



→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

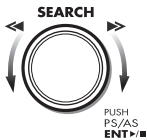
手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチノブを回して、放送のあるところに合わせる



→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

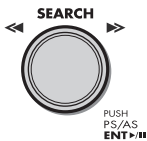
- ステップ選局のときは、サーチノブを回すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチノブを回し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

1 サーチノブを押す



→タイトル表示部に「PRESET SCN」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

サーチノブを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、サーチノブを押してください。

→押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています

1 ISRボタンを押す

ISR

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数「AM 1620」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■元のモードに戻すには…

もう一度、ISRボタンを押してください。

■ISRメモリーに登録するには…

ラジオモードで登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け(約2秒間)てください。

→ISRメモリーに登録されます。

CD/MP3/WMA/MDを聴く

MP3/WMAについて

●MP3とは

MPEG規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMAとは

- ・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。
- ・WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。
- ・Windows Media™、及びWindows®ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

- ・Windows Media Player 8ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽のコピー」のタブで、「コピーの設定」の中の「コンテンツを保護する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。
- ・Windows Media Player 9ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」のタブで、「録音設定」の中の「保護された音楽を録音する」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMAファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●MP3/WMAディスク作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- ・MP3の場合のサンプリングレートは、11.025kHz~48kHz、ビットレートは、8kbps~320kbps/VBRです。
- ・WMAの場合のビットレートは、48kbps~192kbpsです。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けた場合には、再生できません。
- ・MP3/WMAデータでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「---:---」と点滅表示します。

論理フォーマット(ファイルシステム)

- ・MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル1,2)、JOLIET、ROMEO」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAGをタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、半角英数/カナ/記号までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

- ・TAGのないMP3/WMAフォルダは「NO TAG」が表示されます。
- ・MP3の場合は、ID3-TAG V2.3/2.2/1.1/1.0に対応しています。TAG表示は、V2.3/2.2を優先します。
- ・WMAの場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。
- ・TAGで表示可能な文字は、半角英数/カナ/記号ASCII文字です。

フォルダ階層

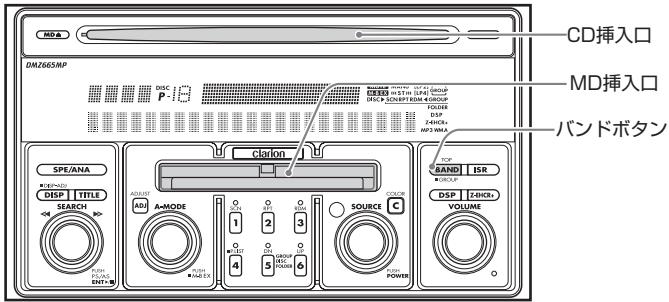
- ・フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル/フォルダ数

- ・曲のファイル数は、1フォルダあたり255ファイルまで認識します。最大で500ファイルまでの再生が可能となります。
- ・曲の演奏はディスクに記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)
- ・記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

●プレイリストの作り方

- 1 希望の曲をCD-R/RW等へ書き込みます。この時全てのフォルダ名、ファイル名は、英数/ASCII文字を使用してください。
- 2 マルチメディアプレーヤーなどを使ってプレイリストを作成し、データを保存します。この時のファイル形式は(M3U,ASX)にしてください。
 - ・CD-R/RW等へ書き込むときは、必ず、英数/ASCII文字を使用してください。
 - ・CD-R/RW等へ書き込むときは、ディスクアットワンスをOFFにしてください。
 - ・プレイリストを追記する場合は、「Root」フォルダーに書き込むことを推奨します。
 - ・リストとして認識できるのは、5階層までであり、書き込んだプレイリストは新しい順に5つまで、認識します。



演奏するディスクの種類を設定する (マルチセッション機能)

マルチセッション機能について…

通常のCDタイプの曲とMP3/WMAタイプの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。

※初期値は「CD」です。

1 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→押し続けるたびにCDタイプ/MP3/WMAタイプを切り換えます。切り換え時にディスプレイに次のように表示します。

- CDタイプ選択時の表示：*M-SESS CD*
- MP3/WMAタイプ選択時の表示：*M-SESS MP3*
- 演奏できる記録タイプは以下のようになります。

ディスク	設定	CDに設定	MP3/WMAに設定
CD/MP3/WMA混在		CDを演奏	MP3/WMAを演奏
CDタイプのみ		CDを演奏	CDを演奏
MP3/WMAタイプのみ		MP3/WMAを演奏	MP3/WMAを演奏

- 設定した後は、一度ディスクを取り出して再挿入してください。
- CD/MP3/WMAの混在したディスクを演奏した場合にCDに設定すると、MP3タイプの曲は、音がでません。

- CCCD(コピーコントロールCD)を演奏する場合は、CDタイプに設定してください。MP3/WMAタイプに設定すると、正常に再生されない場合があります。

ディスクを入れる/取り出す

ディスク・イン・プレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

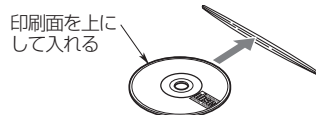
⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

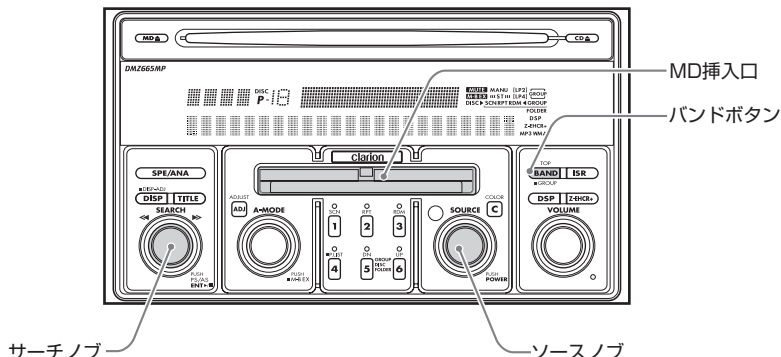
ご注意

- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

1 挿入口にディスクを入れる



CD/MP3/WMA/MDを聴く



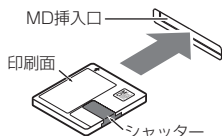
→ディスクを入れると、タイトル表示部に「FILE READ」を表示したのち、MP3/WMAディスクは、「MP3/WMA」を表示して演奏が始まります。

- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

■シングルCD(8cmCD)について

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■MDの場合



■ディスクを取り出すには

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

- 1 CDの場合は、CDイジェクトボタンを押す



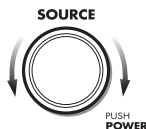
- MDの場合は、MDイジェクトボタンを押す



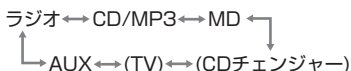
→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

- 1 ソースノブを回して、CD/MP3またはMDモードを選ぶ



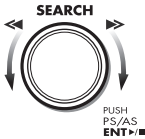
→CD/MP3またはMDモードになると、自動的に演奏が始まります。ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチノブを▶▶方向へ回す

前の曲を聴くときは、サーチノブを◀◀方向へ2回回す



→▶▶方向へ回すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀◀方向へ回すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに回すと、回した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチノブを◀◀方向へ2回回すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチノブを▶▶方向へ回し続ける

早戻しするときは、サーチノブを◀◀方向へ回し続ける



- MP3/WMAディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す

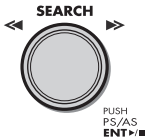


→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

MP3/WMAの場合は、演奏中のフォルダの1曲目に戻ります。

演奏を止める(一時停止する)

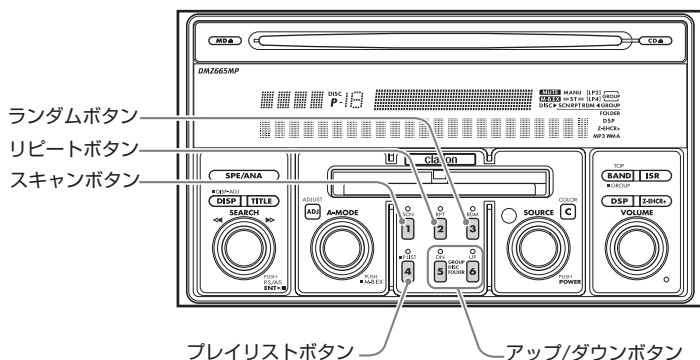
1 サーチノブを押す



→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...
もう一度、サーチノブを押してください。

CD/MP3/WMA/MDを聴く



フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)

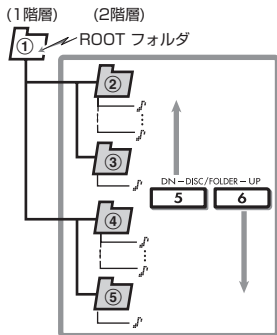
フォルダ選択モードについて…

MP3/WMAディスク再生時、MP3/WMAファイルのあるフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 アップ/ダウンボタンを押す



→5 (DN)を押したときは前のフォルダに、6 (UP)を押したときは次のフォルダに移ります。



■ 曲を選ぶには…

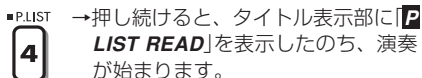
サーチノブを◀または▶方向へ回してください。

プレイリストを選択して曲を演奏する

プレイリストについて…

MP3/WMAディスク再生時、ディスクに書き込まれたプレイリスト情報を読み込み、新しいタイムスタンプ5個まで、演奏をすることができます。

1 プレイリストボタンを押し続ける(約1秒間)



- プレイリスト演奏中はスキャン/リピート/ランダム演奏はできません。
- タイトル表示は、フォルダネームからプレイリストネームに代わります

プレイリストを切り換える

1 アップ/ダウンボタンを押す



→元のプレイリストに戻すには5(DN)を、次のプレイリストに移るときには6(UP)を押してください。

■ 曲を選ぶには…

サーチノブを◀または▶方向へ回してください。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

SCN → ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

1

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 聴きたいフォルダを探す(フォルダスキャン演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

SCN → ディスプレイの「**FOLDER**」と「**SCN**」が点灯して、フォルダスキャン演奏をします。

1

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

RPT → ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

2

■ フォルダ内の曲を繰り返し聴く(フォルダリピート演奏)

演奏中のMP3/WMAフォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT → ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RPT**」が点灯して、フォルダリピート演奏をします。

2

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RDM → ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

3

■ ランダムに演奏を聴く(フォルダランダム演奏)

MP3/WMAディスク内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

RDM → ディスプレイの「**FOLDER**」と「**RDM**」が点灯して、フォルダランダム演奏をします。

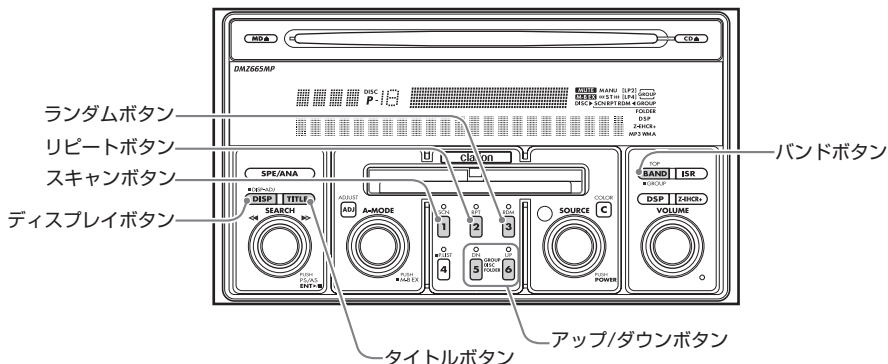
3

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

グループ編集MDを聴く



グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…

グループ機能をONにして、グループ編集MDを再生すると、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。

※初期設定は、「GROUP ON」です。

1 グループ編集MDを入れる

→ディスプレイの「**GROUP**」と「**GROUP**」が点灯します。

2 バンドボタンを押し続けて(約1秒間) ON/OFFを切り換える



- グループ機能ONのとき、「**GROUP**」が点灯します。
- 通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。
- グループ機能ONのときは、グループを優先して演奏し、グループ化されていない曲は最後にまとめて演奏します。

■グループ機能OFFのとき…

通常のMDと同様にトラックNO.の順に演奏します。

グループを切り換える

1 アップ/ダウンボタンを押す



→ダウンボタンを押したときは前のグループに、アップボタンを押したときは次のグループに移ります。

■曲を選ぶには…

サーチノブを回してください。

いろいろな演奏(グループスキャン/グループリピート/グループランダム)

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループ編集MD全グループの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**GROUP**」と「**SCN**」が点灯して、グループスキャン演奏をします。

- グループスキャン演奏は、演奏しているグループの次のグループからはじまります。

タイトルをつける

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT →ディスプレイの「◀GROUP」と「RPT」が点灯して、グループリピート演奏をします。

■全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

グループ編集MDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

RDM →ディスプレイの「◀GROUP」と「RDM」が点灯して、グループランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオ/TVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TVモード : 30タイトル
- CDモード : 50タイトル
- CDチェンジャーモード
DCZ625 : 100タイトル
CDR1255z : 50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USER TITLE**」に設定する

- ラジオ/TVモードのエリアを「**USER TITLE**」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(52ページ)、「TVエリアを設定する」(52ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディ스플레이ボタンを押して、タイトル表示にする

■DISP-ADJ

DISP

- CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、タイトルボタンを押してユーザータイトルに切り換えてください。(25ページ参照)

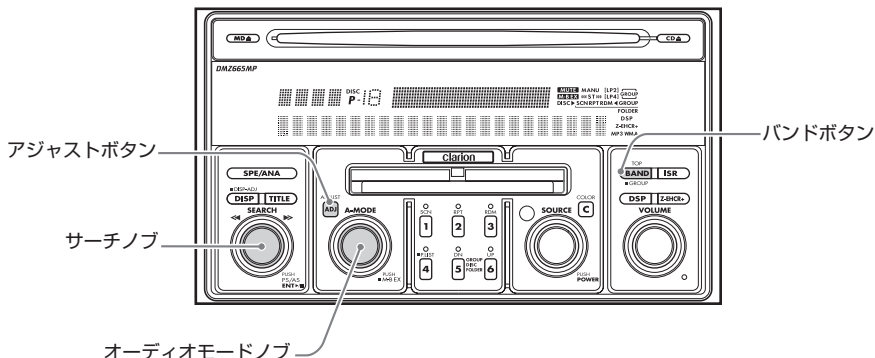
4 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TITLE

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力モードになります。

次ページに続く➡

■ タイトルをつける



※以下の手順5～7を繰り返して入力します。

5 サーチノブを回して、入力位置を決める



→点滅している入力位置が左右に移動します。

- 入力できる文字数は、10文字です。

で注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 バンドボタンを押して、文字の種類を選ぶ



→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。

アルファベットの大文字 ←

↓

アルファベットの小文字

↓

数字/記号

↓

カタカナ

入力文字種類

- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? * \$ % & + - / = () \ ' #
- カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・ー「」

7 オーディオモードノブを回して、入力文字を決める

8 サーチノブを押し続ける(約2秒間)



→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

イージーインプットをする

イージーインプットについて…

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TITLE**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

- 1 ラジオまたはTVモードにしてアジャストボタンを押して、アジャストモードにする

ADJUST



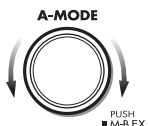
- 2 サーチノブを回して、「**TUN AREA**」または「**TV AREA**」を選ぶ



- 3 サーチノブを押す



- 4 オーディオモードノブを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



- 受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(52ページ)「TVエリアを設定する」(52ページ)をご覧ください。

- 5 サーチノブを押し続ける(約2秒間)

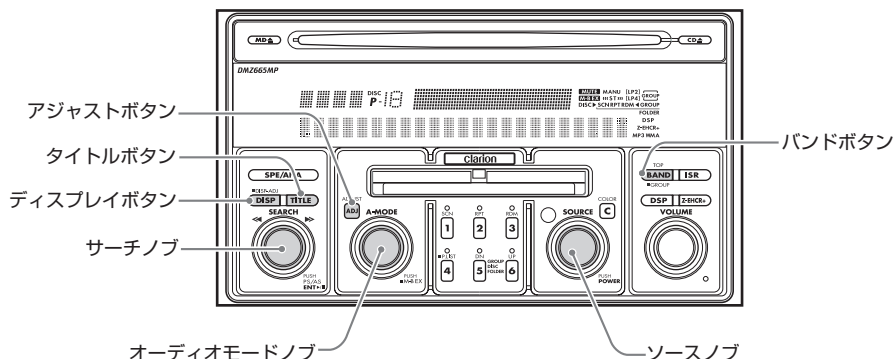


- 6 アジャストボタンを押して、元のモードに戻る

ADJUST

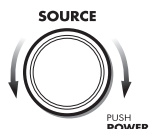


■ タイトルをつける



タイトルを削除する

1 ソースノブを回して、モードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



2 削除したいタイトルの放送局を受信するまたはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



4 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力表示になります。

5 バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



→タイトルが消えます。

6 サーチノブを押し続ける(約2秒間)



→タイトルが削除されます。

設定を変更する(アジャストモード)

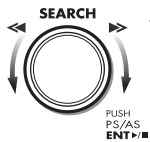
ディスプレイ設定を変更する

1 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



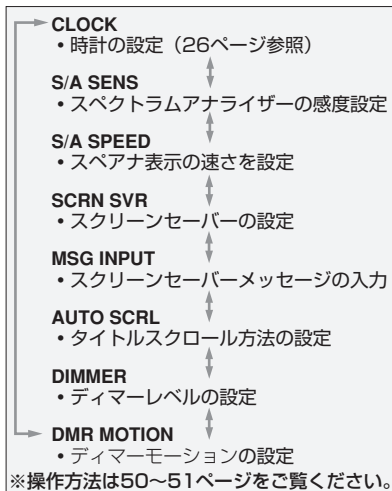
→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

2 サーチノブを回して、設定する項目を選ぶ

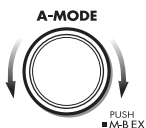


→回すたびに、設定項目が次のように切り換わります。

- 設定項目に「**E**」表示があるときは、サーチノブを押して調整内容を表示します。



3 オーディオモードノブを回して設定する



■設定を終えたら…
ディスプレイボタンを押してください。

・サーチノブを押して調整内容を表示させたときは、サーチノブを押した後、ディスプレイボタンを押してください。

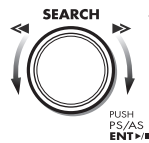
その他の設定を変更する

1 アジャストボタンを押す



→タイトル表示部に前回調整した項目「**BEEP**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチノブを回して、設定する項目を選ぶ

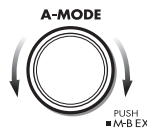


→回すたびに、設定項目が次のように切り換わります。

・設定項目に「**E**」表示があるときは、サーチノブを押して調整内容を表示します。



3 オーディオモードノブを回して設定する



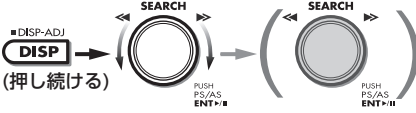
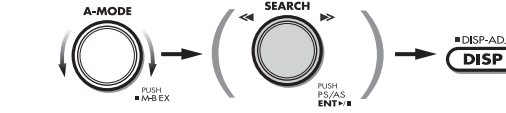
■設定を終えたら…

アジャストボタンを押してください。

・サーチノブを押して調整内容を表示させたときは、サーチノブを押した後、アジャストボタンを押してください。

■ ディスプレイ設定を変更する(ディスプレイアジャストモード)

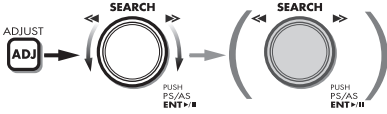
設定機能名	機能の説明
スペクトラムアナライザーの感度を設定する(S/A SENS)	<p>スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。</p> <p>※初期設定は、「MID」です。</p> <p>スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。</p>
スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPEED)	<p>スペアナ表示の速さは、パターンの切り換え表示の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。</p> <p>※初期設定は、「HIGH」です。</p>
スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)	<p>2種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。</p> <p>※初期設定は、「SS ON」です。</p>
メッセージを入力する(MSG INPUT)	<p>本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができます。この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。</p> <p>※初期設定は、「Welcome to Clarion」です。</p>
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)	<p>タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。</p> <p>※初期設定は、「ON」です。</p>
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)	<p>車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。</p> <p>※初期設定は、「ON」です。</p>
ディマーモーションを設定する(DMR MOTION)	<p>正面パネルのアクリル部分を、バリアブル照明を用いて一定周期で明滅させ、この明滅の速さを切り換えることができます。</p> <p>※初期設定は「MID」です。パネルの照明色が「COLOR SCAN」のとき、この機能はOFFされます。</p>

<p>項目名を選択</p>	<p>オーディオモードノブを回して設定</p>
 <p>■DISP-ADJ DISP (押し続ける)</p> <p>SEARCH</p> <p>PUSH PS/AS ENT</p>	 <p>A-MODE</p> <p>SEARCH</p> <p>PUSH PS/AS ENT</p> <p>■DISP-ADJ DISP</p>
<p>「CLOCK」など表示 …→「S/A SENS」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • HIGH : 鋭い感度 • MID : 普通の感度 • LOW : 緩やか感度
<p>「CLOCK」など表示 …→「S/A SPEED」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • HIGH : 速い • MID : 普通の速さ • LOW : 遅い
<p>「CLOCK」など表示 …→「SCRN SVR」 →サーチノブを押す</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SS ON : 表示します。 • SS OFF : 表示しません。
<p>「CLOCK」など表示 …→「MSG INPUT」 →サーチノブを押す →(タイトル入力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「タイトル入力をする」(44ページ)の手順5~7を繰り返して、メッセージを入力します。 • サーチノブを約2秒間押し続けると、タイトル表示部に「MSG MEMORY」を表示してメモリーします。 <p>※サーチノブを押したときは、メッセージ入力モードをキャンセルし、元の状態に戻ります。</p>
<p>「CLOCK」など表示 …→「AUTO SCRL」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ON : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。 • OFF : タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)と、1回のみスクロールします。
<p>「CLOCK」など表示 …→「DIMMER」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ON : 車のイルミネーションに連動して、ディスプレイ照明を減光します。 • OFF : 連動しません。
<p>「CLOCK」など表示 …→「DMR MOTION」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • HIGH : 照明の明滅が速くなります。 • MID : 中間の速さです。 • LOW : 照明の明滅がゆっくりとなります。 • OFF : 明滅しません。

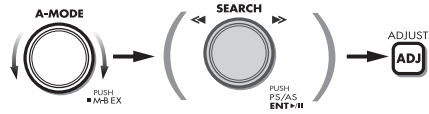
■ その他の設定を変更する(アジャストモード)

設定機能名	機能の説明
ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)	操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。 ※初期設定は、「ON」です。
チューナーエリアを設定する(TUN AREA)	チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。 ※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。 • オリジナルの放送局名を表示する場合は、「 USER TITLE 」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルを入力する」(45ページ)をご覧ください。 イージーインプット機能について… チューナーエリアを選択してから、サーチノブを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「 USER TITLE 」メモリーへ登録されます。詳しくは47ページをご覧ください。
TVエリアを設定する(TV AREA)	テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時) ※初期設定は、「カントウ」(関東)です。 • オリジナルの放送局名を表示する場合は、「 USER TITLE 」にしてください。 また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルを入力する」(45ページ)をご覧ください。 イージーインプット機能について… テレビエリアを選択してから、サーチノブを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「 USER TITLE 」メモリーへ登録されます。詳しくは47ページをご覧ください。

項目名を選択



オーディオモードノブを回して設定



「BEEP」など表示
…→「BEEP」

- **ON** : ビープ音が鳴ります。
- **OFF** : ビープ音が鳴りません。

「BEEP」など表示
…→「TUN AREA **E**」
→サーチノブを押す
→「コウイキ カントウ」

- オーディオモードノブを回してエリアを選択します。
- サーチノブを押して確定します。

表示名(エリア名)	表示名(エリア名)
USER TITLE(タイトル入力された放送局名)	
ホッカイドウ (北海道)	
トウホク (東北)	
コウイキ カントウ (広域 関東)	
コウイキ トウカイ (広域 東海)	
ホクリク (北陸)	キンキ (近畿)
チュウゴク (中国)	シコク (四国)
キュウシュウ (九州)	オキナワ (沖縄)

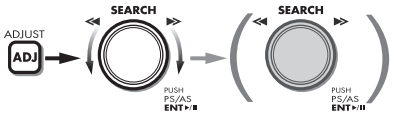
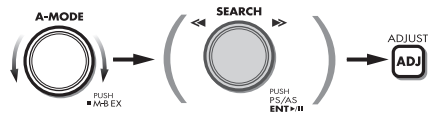
「BEEP」など表示
…→「TV AREA **E**」
→サーチノブを押す
→「カントウ」

- オーディオモードノブを回してエリアを選択します。
- サーチノブを押して確定します。

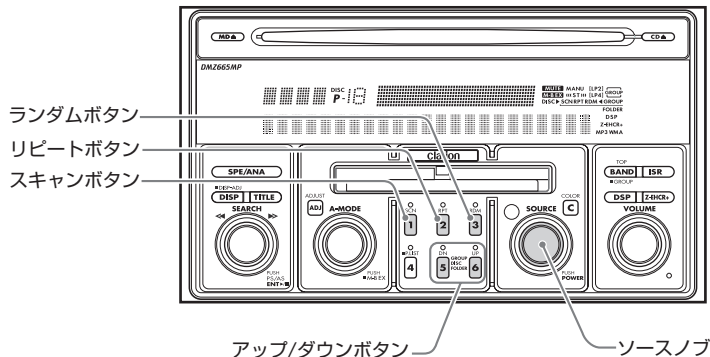
表示名 (エリア名)	表示名 (エリア名)
USER TITLE タイトル入力された放送局名	
サップロ (札幌)	トウホクA (東北A)
センダイ (仙台)	トウホクB (東北B)
フクシマ (福島)	シンエツ (信越)
カントウ (関東)	シズオカ (静岡)
トウカイチュウブ (東海中部)	
ホクリク (北陸)	キンキ (近畿)
サンイン (山陰)	オカヤマ (岡山)
サンヨウ (山陽)	シコクA (四国A)
シコクB (四国B)	キュウシュウA (九州A)
キュウシュウB(九州B)	キュウシュウC (九州C)
カゴシマ (鹿児島)	オキナワ (沖縄)

■ その他の設定を変更する(アジャストモード)

設定機能名	機能の説明
TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)	TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。 (TVチューナー接続時) ※初期設定は、「 TV MAIN 」です。
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時) ※初期設定は、「 ON 」です。 TVダイバーシティアンテナを使用していないときはOFFに設定し直してください。
携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)	本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定します。 ※初期設定は、「 MID 」です。
システムをチェックする(SYS CHECK)	マニュアルでシステムをチェックします。

項目名を選択	オーディオモードノブを回して設定
	
<p>「BEEP」など表示 …→「TV MAIN/SUB」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • TV MAIN : 主音声を再生します。 • TV SUB : 副音声を再生します。
<p>「BEEP」など表示 …→「TV DIVER」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ON : 使用する。 • OFF : 使用しない。
<p>「BEEP」など表示 …→「AUX SENS」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • LOW : 入力レベルが低いとき • MID : 通常レベルのとき • HIGH : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
<p>「BEEP」など表示 …→「SYS CHECK <E>」 →サーチノブを押し続ける (約1秒間) →(システムチェック)</p>	<p>システムチェックが完了すると、元のモードに戻って再生をはじめます。</p>

CDチェンジャーを操作する



<チェンジャーの操作について>

次の操作はCDモードと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

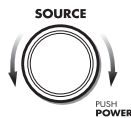
「CD/MP3/WMAを聴く」(41~43ページ)をご覧ください。

CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを2台まで接続できます。

チェンジャーモードを選ぶ

- 1 ソースノブを回して、チェンジャーモードを選ぶ



→チェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。

- 接続している機器のモードを表示します。

ラジオ ↔ CD/MP3 ↔ MD
↙ ↘
AUX ↔ (TV) ↔ (CDチェンジャー)

■2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

ソースノブを回して、接続したチェンジャーを選択してください。(ソースノブを回すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC**」と表示されます。
- タイトル表示については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(25ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 前のディスクを聴くときは、ダウンボタンを押す

次のディスクを聴くときは、アップボタンを押す



いろいろな演奏(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す (ディスクスキャン演奏)

チェンジャー内のディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

1 SCN →ディスプレイの「DISC ▶」と「SCN」が点灯して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

2 RPT →ディスプレイの「DISC ▶」と「RPT」が点灯して、ディスクリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く (ディスクランダム演奏)

チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

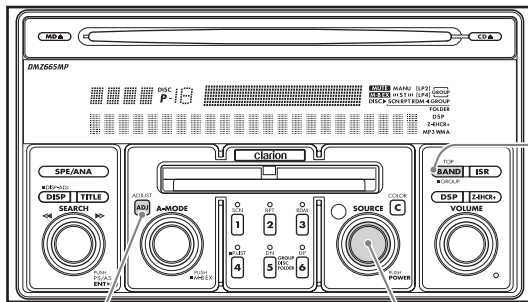
3 RDM →ディスプレイの「DISC ▶」と「RDM」が点灯して、ディスクランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る



アジャストボタン

ソースノブ

バンドボタン

<TVの操作について>

次の操作はラジオモードと同様の操作です。

- 自動選局/手動選局/プリセット選局
- プリセットメモリー/自動メモリー(オートストア)
- プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(35~37ページをご覧ください)。

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

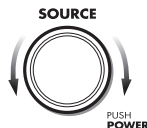
ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(54ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(52ページ)で受信エリアを設定してください。

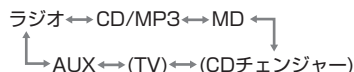
TVモードを選ぶ

- 1 ソースノブを回して、TVモードを選ぶ



→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。

接続している機器のモードを表示します。

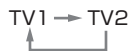


受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押して、TV1またはTV2を選ぶ



→押すたびに、バンドが切り換わります。



その他の外部機器を操作する

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 アジャストボタンを押し続ける(約1秒間)を押す



→TVモードからVTRモードに切り換わりま
す。
TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを
見ることができます。

■TVモードに戻すには…

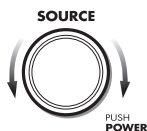
もう一度、アジャストボタンを押し続けて
(約1秒間)ください。

携帯用オーディオを聴く (AUXモード)

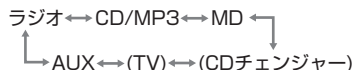
AUXモードについて…

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接
続して音楽ソースを聴くことができます。
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット
(EA-1155A)は接続できません。

1 ソースノブを回して、AUXモードを 選ぶ



→回すたびに、次のように切り換わります。
AUXモードになると、接続された携帯用
オーディオのプレイ操作で、音が再生され
ます。



■入力レベルを調整するには…

「携帯用オーディオの入力レベルを設定す
る」(54ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた

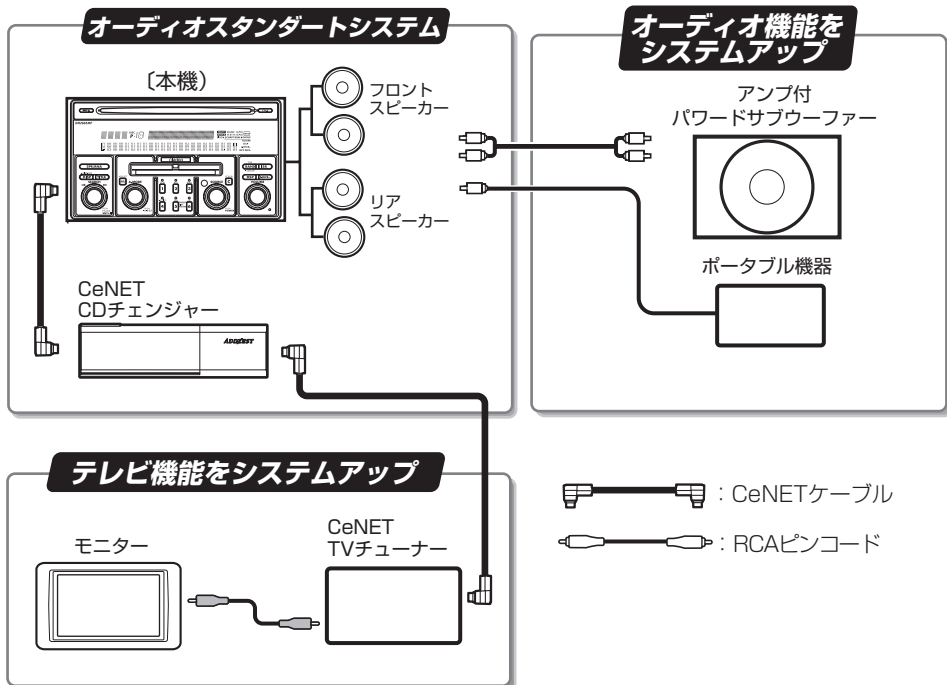
本機のAUX入力RCAピンコードへ市販の
コードを使用して、携帯用オーディオを接
続してください。

システムアップについて

本機はCeNET結線対応の外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張ができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

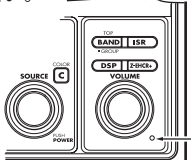
CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET TVチューナー	2.5m<オス⇔オス>
CeNET CDチェンジャー	5m <オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m<オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m<オス⇔メス>

<>内は、コネクターの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています	音量をもう少し絞ってお聞きください。 電源を再投入する事で、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュウムが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD MP3 WMA	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上に入れてください。
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。

	現象	原因	処置
CD MP3 WMA	音がでない	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEOでファイルを作成してください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEOでファイルを作成してください。	
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上にし、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD / MP3 モード	ERROR2	ディスクが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示		録音されているディスクと交換してください。	
MDモード	ERROR2	MDメカが故障しているときの表示	MDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR H	MDメカの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDメカの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示		録音されているディスクと交換してください。	

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 10Hz~20kHz±1dB
SN比 : 100dB
ダイナミックレンジ : 95dB
高調波ひずみ率 : 0.01%

■MDプレーヤー部

周波数特性 : 20Hz~20kHz
SN比 : 90dB
ダイナミックレンジ : 85dB
高調波ひずみ率 : 0.01%(1kHz)

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 9dBf
50dBクワイティンク感度 : 15dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 28dBμV
SN比 : 50dB

■MP3部

MP3デコード : MPEG-1、オーディオレイヤー3
準拠

サンプリングレート :

MPEG-1 : 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
MPEG-2 : 16kHz, 22.05kHz, 24kHz
MPEG-2.5 : 11.025kHz, 12kHz

ビットレート :

MPEG-1 : 32k~320kbps/VBR
MPEG-2 : 8k~160kbps/VBR
MPEG-2.5 : 8k~160kbps/VBR

セクタ構造 : CD-ROMモード1、モード2-
フォーム1(自動判別)

論理フォーマット :

ISO9660レベル1,2/JOLIET/ROMEO

フォルダ構造 : 8階層

フォルダ数 : 最大255

ファイル数 : 最大500(但し1フォルダあたり
255まで)

ファイル名 : 128byte(1byte文字で128文字)

フォルダ名 : 最大128byte(1byte文字で128文
字)

■AUX部

入力感度
LOW : 650mV(2V出力時)
MID : 1.3V(2V出力時)
HIGH : 2.0V(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 17W×4(20Hz~20kHz、1%、4Ω)
最大出力 : 53W×4
適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
2バンドEQ BASS(60/100/200Hz):±15dB
TREBLE(10k/15kHz) : ±12dB
マグナベースEX : +10dB(50Hz)
(音量ステップ 14)
ラインアウト出力レベル : 2.0V(CD1kHz)

■Zエンハンサープラス/DSP部

Zエンハンサープラス(5モード)
: BASS BOOST / IMPACT / EXCITE
CUSTOM / Z+ OFF
DSP(5モード)
: STADIUM / HALL / CLUB
CHURCH / L-ROOM / DSP OFF

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 3.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A/3A
外形寸法 : 178(W)×100(H)×182.5(D)mm
(取付寸法 : 156.5(D)mm)
質量 : 2.2kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ(M5×8) 8本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンス
コーポレーションの米国及び外国特許に
基づく許諾製品

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。